



☆藤高教授、所長に就任☆

福田武雄前所長の後をうけて、第6代所長として藤高周平教授が昭和36年3月31日付をもって就任した。同教授は昭和5年東京帝国大学工学部電気工学科を卒業、昭和6年11月東京工業大学助教授、昭和17年4月1日東京帝大第二工学部教授となり、応用電気工学講座を担当した。以後生産技術研究所発足とともに引き続き勤務し、現在第3部（電力・通信）教授である。昭和17年12月24日工学博士の学位を受けた。

☆金森教授退官☆

第4部 金森九郎教授は本年4月末日をもって退官され、富士製鉄KKに入社した。同教授は昭和7年東京帝国大学工学部冶金学科を卒業、八幡製鉄所・広畑製鉄所において、製鉄の実際にあたり、昭和17年第二工学部教官となり、昭和24年生産技術研究所に移行と共に第4部教授として、鉄鋼精錬の研究をつづけて今日に至った。酸素吹込による鉄の精錬（吹精法）が研究の主体をなし、緩流吹精法（高炉湯道吹精法）の研究を経て、高炉湯溜吹精法を進展させ、その研究のために1トン試験高炉を生研内に建設し、吹精法、高炉法の研究その他について日本の冶金研究に新しい面を拓かれた。

☆人事☆

◇第1部 研究員 秋葉鏝二郎は助教授に昇任した。（1961.4.1）

☆学位取得☆

◇第1部 大学院学生 伯野元彦は、博士課程を卒業し工学博士の学位を取得した。（1961.3.29）

☆海外渡航状況☆

◇第1部 糸川英夫教授は、アルゼンチン共和国ヴェノスアイレス市において開催される宇宙開発国家委員会に出席、ならびにアメリカ合衆国航空宇宙局において研究技術の交換を行なうため5月2日出発、同31日帰国の予定である。

◇第1部 秋葉鏝二郎助教授は、アメリカ合衆国航空宇宙局においてロケット研究に関する技術ならびに情報交換のため5月10日出発し、6月9日帰国の予定である。

◇第2部 石原智男助教授は、5月20日より7月20日まで、アメリカ、西ドイツ、スイス、イタリア、スウェーデン、イギリス、フランス各国へ出張する。目的はスイスのインターラーケンにおける第26回 I E C 国際会議 T C 4（水タービン部会）に出席ならびに欧米における流体伝動装置の研究状況の視察および研究論文の討議のため。

☆観測ロケット関係会社へ感謝状☆

観測ロケット、カップ8、9型機の完成を機に、機体機器その他の製作に優秀な技術をもって参加されたプリンス自動車工業KK航空事業部ほか19社の代表の方へ藤高所長より感謝状を贈る式を来る6月1日に行なう。



筆者

- ◇平尾 収 教授 工博 専攻 内燃機関学・自動車工学
- ◇亙理 厚 教授 工博 専攻 機械力学・機械振動学
- ◇藤井 澄二 工学部教授 工博 専攻 機械工学
- ◇井口 雅一 工学部大学院学生 専攻 自動制御
- ◇菊池 英一 工業技術院機械試験所自動車実験室
- ◇宮本 三二 研究生 専攻 自動車工学

紹介

- ◇石原 智男 助教授 工博 専攻 流体力学・流体機械学
- ◇水町 長生 教授 工博 専攻 ガスタービン
- ◇加藤 正夫 教授 工博 専攻 放射性同位元素工学
- ◇星 埜 和 教授 工博 専攻 土質工学・交通路工学
- ◇立石 泰三 助手 専攻 機械力学・機械振動学
- ◇西山 正一 技官 専攻 同上

出版委員

- 出版委員長 関野 克
- 委員 小瀬 輝次
- 渡辺 勝
- 安藤 良夫

委員 \* 石原 智男

- 植村 恒義
- 斎藤 成文
- 浜崎 襄二
- 河添邦太郎

委員

- 野崎 弘 専門委員 星野 昌一
- 原 善四郎 斎藤 成文
- \* 田中 尙 森 大吉郎
- 三木五三郎 編集室 下村潤二郎
- (\* 印当番委員) 水野 晴明

第13巻 第5号

生産研究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)

1961年5月1日発行 印刷所

三美印刷株式会社  
東京都千代田区神田多町2の7

頒価 120円

編集者  
発行者

関野 克  
藤高 周平

発行所

東京大学生産技術研究所  
千葉庁舎 千葉市弥生町1  
電話 千葉(2)0261(代表)  
麻布庁舎 東京都港区麻布新電土町10  
電話 (408) 4291(代表)